

公益社団法人郡山青年会議所

2022年度事業報告

## 公益社団法人郡山青年会議所 2022年度年間事業

日時			業務報告
1月	4日	10:30～	第1回 臨時理事会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
1月	4日	12:30～	新年祈禱 / 場所：安積国造神社
1月	4日	13:00～	第1回 常任理事会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
1月	4日	15:00～	郡山商工会議所賀詞交歓会 / 場所：ホテルハマツ
1月	4日	16:00～	郡山青年会議所OB会令和4年度総会 / 場所：ホテルハマツ
1月	5日	18:30～	(公社) 会津青年会議所新年会 / 場所：会津若松ワシントンホテル
1月	11日	11:00～	NPO法人郡山農学校 農始式 / 場所：農学校ビニールハウス
1月	11日	13:00～	第1回 正副会長会議 第1回 正副会長会議
1月	13日	12:30～	郡山ロータリークラブ理事長卓話 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
1月	13日	19:00～	第1回理事会 / 場所：(公社) 郡山青年会議所事務局
1月	14日	18:00～	第1回県南エリア会議 / 場所：いわき石川
1月	17日	12:00～	第1回 正副拡大会議 / 場所：メゾン・ド・リアフィュー(仙台) / WEB
1月	17日	18:00～	公益社団法人郡山青年会議所新年会 / 場所：郡山ビューホテル 4F パラシオ
1月	21日		2022年度 京都会議 (～23日) / 場所：WEB
1月	24日	13:00～	第2回地域家庭教育推進県中ブロック会議 / 場所：郡山市中央公民館
1月	25日	19:00～	財政審査会議 / 場所：(公社) 郡山青年会議所事務局
1月	25日	19:00～	もとみや青年会議所新年会 / 場所：ネーブルシティもとみやaube
1月	26日	18:00～	1月例会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
1月	26日	19:50～	1月定時総会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
1月	27日	19:00～	二本松青年会議所新年会 / 場所：二本松御苑
1月	28日	17:30～	(公社) 白河JC新年会 / 場所：ハウス オブ ベルヴィ白河
2月	1日	19:00～	第2回常任理事会 / 場所：WEB常任理事会
2月	4日	14:30～	第1回会員会議所会議 / 場所：WEB
2月	5日	12:00～	2022年度「新春のつどい」 / 場所：WEB配信
2月	13日	10:00～	東北青年フォーラム主催主管締結式事前撮影 / 場所：(公社) 郡山青年会議所事務局
2月	15日	19:00～	第2回理事会 / 場所：WEB理事会

2月	25日	13:00~	第2回 正副拡大会議 / 場所: WEB
2月	21日	19:00~	2月例会 / 場所: WEB例会
2月	22日	18:00~ 20:00	地域と企業の強みをつくる ESG・CSR基礎講座 / 場所: WEB
2月	22日	20:00~	財政審査会議 / 場所: (公社) 郡山青年会議所事務局
2月	24日	19:00~	議案書セミナー / 場所: WEBセミナー
2月	25日	18:00~	第2回県南エリア会議 / 場所: WEB
2月	26日	16:10~	未来を巻き込む即戦力になる!! アカデミー委員会開校式 / 場所: WEB
3月	1日	19:00~	第3回常任理事会 / 場所: WEB常任理事会
3月	4日		第2回会員会議所会議 / 場所: ハイブリッド
3月	4日	13:10~	令和4年度「郡山市豊かな長寿社会いきいきふれあいの集い・郡山市スマートシニア応援事業」 / 場所: 郡山文化センター
3月	11日	15:00~	第3回東北青年フォーラム運営委員会 / 場所: 郡山市中央公民館 第3講義室
3月	11日		復興の灯火プロジェクト2022~震災の記憶と地域文化の継承~ / 場所: 郡山駅西口駅前広場
3月	12日	13:30~	新入会員オリエンテーション / 場所: 郡山市労働福祉会館二階中ホール
3月	15日	19:00~	第3回理事会 / 場所: (公社) 郡山青年会議所事務局及びWEB
3月	16日	13:00~	第3回 正副拡大会議 / 場所: 北上
3月	24日	18:00~	第36回自衛隊郡山音楽祭 / 場所: 郡山中央公民館
3月	24日	18:00~	第3回県南エリア会議 / 場所: 田村
3月	25日	15:00~	郡山うねめまつり実行委員会企画部会 / 場所: 郡山商工会議所会館6階
3月	25日	20:30~	KPI・KGIセミナー / 場所: WEBセミナー
3月	26日	13:00~	公益社団法人日本青年会議所 第170回総会 / 場所: パシフィコ横浜・ハイブリッド開催
3月	26日	19:00~	財政審査会議 / 場所: (公社) 郡山青年会議所事務局
3月	28日	19:00~	3月例会 / 場所: 郡山市郡山公会堂
4月	1日	19:00~	第4回常任理事会 / 場所: (公社) 郡山青年会議所事務局
4月	2日	17:30~	開成山公園桜のライトアップ / 場所: 開成山公園野外音楽堂
4月	7日	16:00~	第3回会員会議所会議 / 場所: ネーブルシティもとみやaube
4月	13日	18:00~	第61回「久米賞・百合子賞」第1回実行委員会 / 場所: 郡山市役所本庁舎5階 教育委員会室
4月	14日	19:00~	第4回理事会 / 場所: (公社) 郡山青年会議所事務局及びWEB
4月	15日	17:00~	4月例会並びにチェリーパーティー / 場所: 郡山モノリス

4月	18日	13:30~	第58回郡山うねめまつり実行委員会総会 / 場所: 郡山商工会議所会館
4月	18日	14:30~	サマーフェスタ IN KORIYAMA 実行委員会総会 / 場所: 郡山商工会議所会館
4月	19日	10:00~	理事長特別対談 / 場所: (公社) 郡山青年会議所事務局
4月	20日		Family Day / 場所: 郡山
4月	20日	17:30~	オンラインサロン「和治の部屋」 / 場所: WEB
4月	21日	19:00~	財政審査会議 / 場所: (公社) 郡山青年会議所事務局
4月	23日	07:20~	しゃくなげカップ2022 / 場所: バイロンネルソンカントリークラブ
4月	25日	18:00~	第4回県南エリア会議 / 場所: (公社) 郡山青年会議所事務局
4月	27日	14:00~	サマーフェスタ IN KORIYAMA 実行委員会 第1回運営本部会議 / 場所: 郡山商工会議所会館
4月	28日	19:00~	第5回常任理事会 / 場所: (公社) 郡山青年会議所事務局
5月	7日	14:00~	第4回会員会議所会議 / 場所: 会津坂下町中央公民館
5月	9日	15:00~	郡山うねめまつり実行委員会企画部会 / 場所: 郡山商工会議所会館
5月	11日	16:00~	第5回正副拡大会議 / 場所: 泉
5月	12日	19:00~	第5回理事会 / 場所: (公社) 郡山青年会議所事務局及びWEB
5月	13日	13:30~	日本遺産「一本の水路」プロモーション協議会総会 / 場所: 郡山市公会堂
5月	13日	16:00~	会頭公式訪問 / 場所: いわき市正月荘
5月	15日	07:00~	第25回わんぱく相撲こおりやま場所 / 場所: 郡山相撲場
5月	17日	13:30~	こおりやま産業博実行委員会総会 / 場所: 郡山商工会議所会館
5月	18日	18:30~	第61回『久米賞・百合子賞』審査員顔合わせ会 / 場所: 労働福祉会館 中ホール
5月	21日	13:30~	(公財) 福島県青少年教育振興会創立50周年記念講演会・式典・祝賀会 / 場所: 郡山ビューホテル
5月	22日	10:00~	5月例会並びにSDGs×郡山青年会議所×こおりやま謎解きウォークラリー / 場所: 緑水苑
5月	23日		Family Day / 場所: 郡山
5月	25日	18:30~	郡山市商店街連合会総会懇親会 / 場所: 郡山ビューホテル
5月	26日	19:00~	財政審査会議 / 場所: (公社) 郡山青年会議所事務局
5月	27日		2022 JCI ASPAC堺高石大会(～29日) / 場所: 大阪府堺市堺区
6月	1日	19:00~	第6回常任理事会 / 場所: (公社) 郡山青年会議所事務局
6月	2日	15:00~	第58回郡山うねめまつり「うねめまつり踊り流し」参加団体説明会 / 場所: 郡山文化センター
6月	12日	08:00~	JCカップU-11少年少女サッカー全国大会福島予選大会 / 場所: 福島空港公園・緑のスポーツエリア

6月	13日	13:30~	令和4年度家庭応援プロジェクト「第1回地域家庭教育推進県中ブロック会議」 / 場所: 郡山合同庁舎仮設庁舎第1会議室
6月	14日	19:00~	第6回理事会 / 場所: (公社) 郡山青年会議所事務局
6月	15日	13:00~	第6回 正副拡大会議 / 場所: 郡山
6月	19日	08:00~	第25回わんぱく相撲福島ブロック大会 / 場所: 会津総合運動公園 あいづ相撲場
6月	19日	13:30~	郡山魅力サミット~あなたがいるから、できること~ / 場所: 安積歴史博物館
6月	20日		Family Day / 場所: 郡山
6月	21日	17:00~	第5回県南エリア会議 / 場所: 東白川
6月	21日	19:00~	価値デザイン会議セミナー / 場所: WEB
6月	22日	18:30~	第2回オンラインサロン「和治の部屋」 / 場所: WEB
6月	23日	19:00~	6月例会 / 場所: 郡山市郡山公会堂
6月	24日	19:00~	財政審査会議 / 場所: (公社) 郡山青年会議所事務局
6月	25日	08:50~	郡山JCじゃがいもクラブ / 場所: 矢吹ゴルフ倶楽部
6月	26日	17:00~	郡山農学校総会懇親会 / 場所: 郡山ビューホテルアネックス
7月	1日	19:00~	第7回常任理事会 / 場所: (公社) 郡山青年会議所事務局
7月	2日		第5回会員会議所会議
7月	2日		福島ブロック大会in二本松 (~3日) / 場所: 二本松市
7月	7日	10:00~	中間会計監査・事業監査 / 場所: (公社) 郡山青年会議所事務局
7月	12日		第7回 正副拡大会議 / 場所: 南陽
7月	14日	14:00~	サマーフェスタIN KORIYAMAビール祭実行委員会 / 場所: 郡山商工会議所
7月	14日	19:00~	第7回理事会 / 場所: (公社) 郡山青年会議所事務局
7月	15日	15:00~	郡山うねめまつり踊り流し参加団体説明会 / 場所: 郡山商工会議所会館6階
7月	15日		2022年度サマーコンファレンス (~17日) / 場所: パシフィコ横浜
7月	18日		Family Day / 場所: 郡山
7月	20日	15:00~	第3回うすい百貨店ファンクラブ総代会 / 場所: 郡山ビューホテルアネックス 舟津
7月	21日	19:00~	7月例会 / 場所: 郡山ビューホテルアネックス3F 雲水峰
7月	23日	19:00~	財政審査会議 / 場所: (公社) 郡山青年会議所事務局
7月	26日	10:00~	サマーフェスタIN KORIYAMAビール祭実行委員会 / 場所: 郡山商工会議所会館
7月	27日	19:00~	第61回「久米賞・百合子賞」読みあわせ会 / 場所: ミューカルがくと館 中ホール

7月	28日	13:00~	第3回育LOM交流会（組織改革委員会主催） / 場所：WEB
7月	29日	19:00~	第8回常任理事会 / 場所：（公社）郡山青年会議所事務局
8月	1日		第8回 正副会長会議 / 場所：WEB
8月	2日	13:30~	2022元気応援！！郡山わくわくフェスタ実行委員会 / 場所：清水公民館地域公民館 第2集会室
8月	2日	14:00~	サマーフェスタIN KORIYAMAビール祭実行委員会 / 場所：郡山商工会議所会館
8月	2日	15:00~	明るい祭礼推進委員会 監査 / 場所：郡山商工会議所会館
8月	5日		うねめまつり 葛城王パレード / 場所：郡山駅前
8月	6日	10:30~	奈良JCとの交流会及びうねめまつり踊り流し参加（～7日） / 場所：郡山
8月	9日	13:00~	地球にやさしい”ふくしま”県民会議県中地方会議 / 場所：福島県環境創造センター交流棟
8月	10日		第8回 正副拡大会議 / 場所：盛岡
8月	10日	19:00~	第8回理事会 / 場所：（公社）郡山青年会議所事務局及びWEB
8月	11日	16:00~	サマーフェスタIN KORIYAMAビール祭（～13日） / 場所：郡山駅前
8月	18日		第6回県南エリア会議 / 場所：白河市
8月	20日	09:00~	防災体験キッズワークショップ～体感型防災アトラクション～ / 場所：郡山カルチャーパーク内 カルチャーセンター
8月	21日		JCカップU-12少年少女サッカー東北地区予選大会 / 場所：安比高原スポーツパーク ASPA
8月	22日	19:00~	8月例会 / 場所：郡山市郡山公会堂
8月	23日		Family Day / 場所：郡山
8月	24日	18:30~	オンラインサロン「和治の部屋」 / 場所：WEB
8月	24日	19:00~	財政審査会議 / 場所：（公社）郡山青年会議所事務局
8月	31日	19:00~	第9回常任理事会 / 場所：（公社）郡山青年会議所事務局
9月	1日	17:00~	第6回会員会議所会議 / 場所：浪江町地域スポーツセンター
9月	2日	13:30~	2022年度東北青年フォーラムin栗原（～4日） / 場所：栗原市
9月	14日	13:00~	第9回 正副拡大会議 / 場所：福島
9月	14日	19:00~	第9回理事会 / 場所：（公社）郡山青年会議所事務局
9月	15日	15:00~	災害時等における協力体制に関する協定書締結式 / 場所：郡山市総合福祉センター
9月	20日		Family Day / 場所：郡山
9月	20日	11:00~	第7回県南エリア会議 / 場所：WEB
9月	21日	18:00~	9月例会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス

9月	21日	19:20~	9月定時総会 / 場所: 郡山ビューホテルアネックス
9月	24日	19:00~	財政審査会議 / 場所: WEB会議
9月	29日	13:40~15:00	第61回「久米賞・百合子賞」第2回実行委員会 / 場所: 郡山市役所本庁舎5階 教育委員会室
9月	30日	15:30~16:40	第10回常任理事会 / 場所: (公社) 郡山青年会議所事務局
10月	3日		第7回会員会議所会議 / 場所: 猪苗代
10月	7日		第71回全国大会 おおいた大会 (~9日) / 場所: 大分市内
10月	12日		第10回 正副拡大会議 / 場所: 米沢
10月	14日	13:30~	第1回郡山市制施行100周年記念事業プロモーション委員会 / 場所: 郡山市役所本庁舎2階正庁
10月	14日	19:00~	第10回理事会 / 場所: (公社) 郡山青年会議所事務局
10月	16日	10:30~	魅力発見! こおりやま / 場所: なかまち夢通り
10月	19日	19:00~	第61回「久米賞・百合子賞」最終審査会 / 場所: 労働福祉会館 2階 中ホール
10月	20日		第8回県南エリア会議 / 場所: かに徳
10月	21日	18:00~	第2回 臨時理事会 / 場所: (公社) 郡山青年会議所事務局
10月	21日	09:40~	こおりやま産業博開会式 / 場所: ビッグパレットふくしま 多目的展示ホール前「ホワイエ」
10月	23日		Family Day / 場所: 郡山
10月	24日	19:00~	10月例会 / 場所: 郡山市郡山公会堂
10月	25日	18:30~	2022年度 県北4JC会頭訪問並びに懇親会 / 場所: エルティ ウェディング・パーティ エンポリアム
10月	25日	19:00~	財政審査会議 / 場所: 公益社団法人郡山青年会議所事務局
10月	26日	19:00~	OB元気会 / 場所: 郡山ビューホテルアネックス
10月	29日	12:00~	第37回わんぱく相撲全国大会 (~30日) / 場所: 両国国技館
10月	29日	15:00~	第8回会員会議所会議 / 場所: 白河
11月	1日	19:00~	第11回常任理事会 / 場所: (公社) 郡山青年会議所事務局
11月	5日	17:30~	理事勉強会 / 場所: 郡山市労働福祉会館2階 中ホール
11月	8日	17:00~	郡山青年会議所×Ussiy ~見せ方一つで地域が変わる~ / 場所: 中央公民館多目的ホール
11月	11日	19:00~	第11回理事会 / 場所: (公社) 郡山青年会議所事務局
11月	15日	17:10~	令和4年度「小学生の税に関する標語」表彰式 / 場所: ホテルハマツ
11月	16日	13:00~	第11回 正副拡大会議 / 場所: 猪苗代
11月	16日	13:10~	令和4年度郡山市豊かな長寿社会いきいきふれあいの集い / 場所: 郡山文化センター

11月	16日	18:00~	第9回県南エリア会議 / 場所: 白河
11月	19日	19:00~	2022年度法人格に関する勉強会(第1回) / 場所: WBEセミナー
11月	20日		Family Day / 場所: 郡山
11月	22日	13:30~	第45回郡山市青少年健全育成推進大会 / 場所: 郡山市中央公民館
11月	23日	10:00~	11月例会並びに第61回「久米賞・百合子賞」授賞式 / 場所: 労働福祉会館 大ホール
11月	23日	15:00~	(一社)大曲青年会議所創立50周年記念式典 / 場所: 大曲エンパイヤホテル
11月	24日	19:00~	財政審査会議 / 場所: WEB会議
11月	25日	19:00~	2022年度法人格に関する勉強会 / 場所: WBEセミナー
11月	27日	13:30~	アカデミー閉校式 / 場所: いわきワシントンホテル
11月	27日	15:10~	ブロック事業報告会 / 場所: いわきワシントンホテル
11月	27日	16:30~	ブロック卒業式 / 場所: いわきワシントンホテル
11月	28日	14:00~	広報誌「アシストパーク」特別記事「新春SDGs座談会」 / 場所: 郡山市役所西庁舎3階
11月	29日	15:00~	第2回郡山市制施行100周年記念事業プロモーション委員会 / 場所: 郡山市役所本庁舎2階正庁
11月	30日	18:00~	郡山JCOB忘年会 / 場所: 郡山ビューホテルアネックス
12月	1日	19:00~	第12回常任理事会 / 場所: (公社)郡山青年会議所事務局
12月	2日	13:30~	2022年度 第2回会員会議所会議 / 場所: ベリーノホテル一関
12月	2日	16:40~	ビッグツリーページェント・フェスタ IN KORIYAMA オープニングセレモニー / 場所: 郡山駅前西口広場
12月	2日	17:00~	郡山東ライオンズクラブ交流会 / 場所: ベルヴィ郡山
12月	2日	17:00~	2022年度東北地区協議会 卒業証書授与式・大懇親会 / 場所: ベリーノホテル一関
12月	10日	13:00~	12月臨時総会 / 場所: 郡山ビューホテル 4階 パラシオ
12月	10日	13:50~	卒業式 / 場所: 郡山ビューホテル 4階 パラシオ
12月	14日	19:00~	第12回理事会 / 場所: (公社)郡山青年会議所事務局
12月	15日	16:00~	12月例会 / 場所: 郡山ビューホテル 4F パラシオ
12月	16日	18:30~	自衛隊郡山音楽祭 / 場所: 郡山文化センター
12月	18日		Family Day / 場所: 郡山
12月	25日	18:00~	郡山農学校忘年会 / 場所: 郡山ビューホテル
12月	27日	18:00~	第61回「久米賞・百合子賞」 第3回実行委員会 / 場所: 郡山市役所本庁舎5階 教育委員会室
12月	28日	19:00~	財政審査会議 / 場所: (公社)郡山青年会議所事務局
1月	10日	10:30~	2022年度事業監査・会計監査 / 場所: 公益社団法人郡山青年会議所事務局

1月	11日	16:30~	第13回常任理事会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
1月	11日	19:30~	第13回理事会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局 (予定)

## 常任理事報告

### 副理事長報告

副理事長 芝田 銀平

本年度は「Just keep going!～前進あるのみ!～自ら行動しよう、愛と笑顔が溢れる郡山の未来のために」のスローガンのもと、経験年数の少ない多くのメンバーに先輩諸氏から連綿と受け継がれてきた郡山青年会議所の歴史と伝統、そして私自身が先輩の皆様からご指導いただいた経験をしっかりと伝えてまいりました。また、2022年度は新型コロナウイルス感染症の感染者数が高止まりしている状況ではありましたがこれまで培ってきた経験を活かし多くの事業を現地開催で行うことができ、私たちメンバー一人ひとりが明るい豊かな社会の実現に向けて大きく前進した一年となりました。

最後となりますが本年度、副理事長という重責を与えていただきました久保田理事長をはじめ現役会員の皆様にご感謝するとともに、本年度得た気づきや学びを次年度組織のリーダーとしてJC運動・活動に活かすこととお約束させていただき、報告とさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。

副理事長 新田 義幸

本年度は、「Just keep going!～ 前進あるのみ!～自ら行動しよう、愛と笑顔が溢れる郡山の未来のために」のスローガンのもと、経験年数が浅い理事メンバーが増えてきている中で、LOMの運営、事業構築・実施、そして先輩諸氏から連綿と受け継がれてきた郡山青年会議所の歴史と伝統を一年間現役会員へと伝えてまいりました。また、新しい時代のなかで、公益法人格を有する団体として相応しい事業構築や組織運営について助言・指導することで、自らも変化させていく必要性を改めて感じた一年でございました。最後となりますが本年度、副理事長という重責を与えていただきました久保田理事長をはじめ現役会員の皆様にご感謝申し上げ、報告とさせていただきます。

### 特別局長報告

事務財政局特別局長 安齋 元喜

本年度は「Just keep going!～前進あるのみ!～自ら行動しよう、愛と笑顔が溢れる郡山の未来のために」のスローガンのもと、事務財政局メンバー丸となり公益社団法人を有する組織として健全で円滑な運営を執り行ってまいりました。

本年度の主な活動としては、専務理事の業務全般を補佐するとともに、諸会議を円滑に実施できるよう各委員会の議案上程スケジュールの管理、財政審査会議による議案書ならびに予算書の事前審査、アジェンダシステムの運用、コンプライアンスの確認等を実施しました。

また本年度の特筆すべき活動としては、久保田理事長の所信にもある2013年に公益法人格を取得し10年という節目において、時代に即した真に求められる組織の在り方を確かな知識をもって検討するため、外部講師をお招きした法人格に関する勉強会を計3回実施し、検討の土台を整えました。

この1年間、常任理事として多くの機会を与えていただきました。貴重な経験の機会を与えていただきました久保田理事長をはじめとする全ての現役メンバーの皆様にご厚く御礼申し上げます。

## 室長報告

指導力開発室室長 佐久間 悠治

2022年度の指導力開発室は、久保田理事長の掲げる「Just keep going!～前進あるのみ!～自ら行動しよう、愛と笑顔が溢れる郡山の未来のために」のもと、会員の資質向上及び会員拡大活動と広報活動を展開してまいりました。

山本委員長が率います会員開発委員会では「つたえる ～同志の輪を広げよう～」を委員会のスローガンに掲げ、会員の資質向上及び会員拡大活動を展開してまいりました。

新型コロナウイルス感染症の影響で3月に開催変更した「新入会員オリエンテーション」は、時代に即した形式で実施し、新入会員にはJC運動、活動の意義を学んでいただきました。3年ぶりに開催した「チェリーパーティ」では、多くのOB会会員の先輩方と交流し、郡山青年会議所の歴史と伝統を学んでいただきました。また10月に開催した全国大会おおいた大会の引率を担当し、大会テーマである「愛を抱いて進め、JAYCEE!」のもと、一人ひとりが地域を変えるための原動力となり、ニューノーマルな時代において私たちの運動・活動の必要性を再認識することができました。会員拡大活動においては、今年度の取り組みとしてJC運動、活動の目的やJCの魅力候補者の所に伺い、現役会員の実体験や自らの言葉で伝えることで共感を生み、会員拡大に取り組んでまいりました。その結果として2023年度は男性会員8名、女性会員1名の新たな同志を迎え入れることができました。

武田委員長が率います広報委員会では「つなげる ～共感と信頼が溢れる未来へ～」を委員会のスローガンに掲げ、本年度は広報誌やホームページに加え、事業を開催する前に地域の方々の声を集め、私達の事業をより地域に寄り添ったものにするべく地域アンケートを実施し、郡山青年会議所の想いと魅力を伝えるだけでなく広げていく広報活動を展開してまいりました。今年度は、写真共有アプリを用いることで、広報委員会だけではなく、メンバー一人ひとりに事業参加時にそれぞれの場面、考えで写真を撮影しながら参加していただくことで、各事業へのより深い理解と共感を生み出す機会をつくることができました。2月に開催した「新入会員オリエンテーション」では室合同で協力し、設営に取り組み、7月に開催したサマーコンファレンス2021は引率を担当し、大会テーマである「しくみの数だけ、幸せがある」のもと、日本青年会議所の運動内容を発信するセミナーに参加したことで地域課題の解決に向けた多くの学び、気づきを得る機会とすることができました。また、11月には「第61回久米賞・百合子賞授賞式」を開催いたしました。本年は実際に足を運び各学校へ「久米賞・百合子賞」の意義を伝えることで、全237作品の応募をいただきました。また小説、詩それぞれで正賞受賞者を輩出することができました。講演会を通して夢を持っていただくことの大切さを学んでいただきました。

最後に指導力開発室として両委員会と共にJC運動、活動を全うできたことに感謝申し上げます。関わっていただいたすべての皆様に感謝申し上げます。一年間、本当にありがとうございました。

2022年度の未来創造室は、久保田理事長の掲げる「Just keep going! ～ 前進あ  
るのみ!～自ら行動しよう、愛と笑顔が溢れる郡山の未来のために」のスローガンのも  
と、まちづくり事業と青少年育成事業を精力的に展開して参りました。

望月委員長が率いますまちづくり委員会では、これまで培ったあらゆるパートナーと  
の繋がりを活かし、こおりやまの持つ地域資源や可能性を多くの企業、団体と考えること  
で新たな価値を創出し、市民に発信する事業を展開して参りました。

6月開催の事業「郡山魅力サミット～あなたがいるから、できること～」では、郡山の  
魅力を通して地域づくりに繋がることを共有し、産官学民間で連携強化を図ることを目  
的として開催しました。企業と学生団体が協力し、どのようなまちづくり事業を開催でき  
るかを議論し、まちづくり委員会で開催するメイン事業へ各団体との連携を図ることが  
できました。

なかまち夢通りで開催しました「魅力発見!こおりやま」では、企業と学生団体が新た  
な魅力を創造し発信する機会となりました。また、事業内での各ブースにて、参加者が郡  
山の魅力に触れ合い地域に対する興味、関心を更に深めていただくきっかけとし、市民一  
人ひとりがまちへの誇りやまちへの愛が生まれ、愛と笑顔が溢れるこおりやまの創造へ  
繋がりました。

飯島委員長が率います青少年育成委員会では、子供たちが不測の自然災害時における  
自助の意識を向上させるとともに、コロナ禍により学校や日常においても交流事業やグ  
ループ活動が減少している中、共助につながる協調性を培う事業を展開して参りました。

「わんぱく相撲」では、同世代の子ども達が繰り広げる真剣勝負のなかで、礼を学ぶと  
共に目標に向かって挑戦し努力することの大切さや、周囲の人々を思いやる心を学ぶ機  
会を提供することができました。

8月には防災減災意識の向上とかけがえのない命を守る大切さを知り、周囲の人々に  
対する思いやりや助け合いの精神を育むことを目的とする「防災体験キッズワークショ  
ップ～体感型防災アトラクション～」が開催されました。体感型防災アトラクション、防  
災体験キッズワークショップ、震災時のパネル展示など、様々な手法により子どもたちが  
自ら考え行動し、参加者同士で協力して乗り越えることで、災害時における一人ひとりの  
レジリエンスの向上と互いに助け合う大切さを学ぶことを学び、郡山の未来を支える人  
財へと成長することに繋がりました。

また、社会福祉法人郡山市社会福祉協議会との災害時等における協力体制に関する協  
定を9月に結びました。これにより、郡山青年会議所と郡山市社会福祉協議会が支援を必  
要とする郡山市民を迅速かつ総合的に支援する体制を整えることができました。

最後まで愛と笑顔が溢れる郡山の未来のために前進し続けた望月委員長ならびに飯島  
委員長、委員長を支え続けた副委員長をはじめとする委員会のみなさま、たいへんお疲れ  
様でした。事業にご協力いただきました現役会員のみなさま、様々な面で助言をいただき  
ました常任理事のみなさま、そしてこのような機会を与えていただいた久保田理事長に、  
感謝申し上げます。一年間、ありがとうございました。

## 2022年度 総務委員会

委員長 織田 陵平  
副委員長 樽川 明広  
副委員長 長尾 宗一郎  
副委員長 江崎 健太

★委員会スローガン

### 凡事徹底

～更なる発展のために～

#### ★事業方針

郡山青年会議所は創立から61年という歴史のなか、ひとづくりやまちづくりを通し明るい豊かな社会の実現に向け運動を重ね、地域を率いるリーダーを輩出し、そのなかで総務委員会はLOMの根幹を担ってきた。時代の大きな転換期に直面し様々な価値観が交錯する現在において郡山青年会議所が新たな未来へ踏み出すために、青年会議所運動・活動の意義や脈々と受け継がれてきた伝統を総務委員会一丸となって学ぶ必要がある。

総務委員会は、例会や各種会議の設営、文書発送等を通しLOMの活動を円滑に進め、運動の最大化を図る。新入会員は様々な事業に積極的に参加し青年会議所運動・活動の基本を学び、先輩方との親睦を深め伝統を知り、姉妹JCである奈良青年会議所との交流を通じて絆を深める。新入会員を指導するスタッフは、青年会議所運動・活動の意義や本質を新入会員に伝えるために今一度基本に立ち返ると同時に、時代に即した会議運営を通し共に学び、率先して行動し自らも成長していく。

総務委員会一人ひとりが自ら積極的に行動し、基本を着実に積み重ねることで様々な能力や作法が身に付き、人の心を動かすリーダーとして相応しい人材へと成長する。そして凡事徹底の精神がJAYCEEとしての自信となり、郡山青年会議所の更なる発展と、愛と笑顔が溢れる郡山の創造へとつながる。

#### ★事業計画〔開催予定月〕

- |                                     |         |
|-------------------------------------|---------|
| 1. 新入会員の教育・指導                       | 〔通年〕    |
| 2. 例会の設営                            | 〔通年〕    |
| 3. 文書発送                             | 〔通年〕    |
| 4. 新年会の設営                           | 〔1月〕    |
| 5. 定時総会の設営                          | 〔1月・9月〕 |
| 6. 会員親睦事業の企画運営                      | 〔5月〕    |
| 7. 福島ブロック大会 in 二本松参加引率              | 〔7月〕    |
| 8. うねめまつり参加引率                       | 〔8月〕    |
| 9. 奈良公式訪問                           | 〔9月〕    |
| 10. 卒業式の企画運営                        | 〔12月〕   |
| 11. 常任理事会、理事会等諸会議の設営と運営、その他庶務に関する業務 |         |
| 12. 総会資料、会員名簿、名刺の作成                 |         |
| 13. 会員拡大に関する情報収集                    | 〔通年〕    |
| 14. その他理事長所信に基づき行なう事業               |         |

## ★ 事業報告

### 1. 新入会員の教育・指導

2022年度は一昨年から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、各種会議や各種事業、遠征事業などは実地とWEBの選択肢によりどちらからでも参加可能なハイブリッド開催というかたちでの開催が多かった1年であった。そのなかで、例会に関しては2月を除いては実地開催となり、新入会員のセレモニーや設えの部分ではしっかりとした教育を施せた。また、3年ぶりに開催された(公社)奈良青年会議所を迎えてのうねめまつり踊り流しへの参加や、例会後の会員親睦会などの様々な機会があり、絆を深めることができた。1年間を通して「凡事徹底」のスローガンのもと基本的な能力や作法が身に付き、能動的に行動することでこれからの青年会議所活動やまちづくりにおいて相応しい人財へと成長することができた。

### 2. 例会の設営

#### ①1月例会

2022年度最初の例会は2年振りの実地開催となり、多くの現役会員で参加し緊張感を持ち取り組むことができた。久保田理事長の「Just keep going! ~前進あるのみ!~ 自ら行動しよう、愛と笑顔が溢れる郡山の未来のために」のスローガンのもと、本年度への想いの詰まったご挨拶をいただき、その後の会務報告では各委員長より本年度のスローガンや事業方針への意気込みを語っていただくことで意識の共有を図り、出向者報告でも情報共有を図ることができた。しかし、設営においては確認不足からくるミスも見受けられたため、事前準備の重要性を改めて実感した例会となった。新型コロナウイルス感染症の感染者数が拡大している状況ではあったが、多くの現役会員の皆様にご協力いただき無事に開催することができた。

#### ②2月例会

1月27日に「蔓延防止措置」発令がなされたため開催方法をWEBへ変更しての実施となったが、現役会員の参加率が80%を超えるなどWEBのメリットを活かした効果を得られたと例会であった。新入会員にとっては初めてセレモニーを担当する例会でもあり、WEB上ではあったがよい緊張感をもって臨むことができた。進行に関しても、皆様のご協力のお陰でスムーズに進めることができ、また、事前の準備時間を多く確保したことにより大きなミスなく進行できた。しかしながら、一部打ち合わせが充分になされておらず不具合もあったため、改善点は少なからず見受けられた。

#### ③3月例会

2月例会はWEB開催に変更となったため、3月例会は新入会員にとっては初めての実地にての設営、そしてセレモニーの担いとなった。事前の現地調査を含めしっかりと準備やリハーサルを行ったうえで設営することができ、メンバーの皆様のご協力もありスムーズに進行することができた。よりよい設営を目指し、総務委員会の更なる成長を期待できる例会となった。

#### ④4月例会

4月例会はチェリーパーティーとの同日同会場での開催であり、いつもとは違う会場ではあったがメンバーの皆様のご協力のお陰で滞りなく進めることができた。理事長挨拶では「育LOM」に関するお話をされ、推進・認定に向けて具体的に動き出すための姿勢をメンバー一同共有することができた。また、3年振りに開催されたOB会会員の先輩方との交流の場であるチェリーパーティーでは、席移動の制限はあったものの多くの先輩方から様々なお話を伺うことができ、有意義な時間を過ごすことができた。

#### ⑤5月例会

5月例会では、ご家族やお子さんも参加可能な設えで開催し、「育LOM」へとつながる第一歩となった。当日は久保田理事長による「育LOM宣言」も行われ、(公社)日本青年会議所 共創グループ 組織改革委員会 委員長 高橋 隆太 君から「育LOM認定証」の授与を受けるファンクシ

ンも設け、ご家族に対しても今後のJC運動・活動への積極的な参加への理解も深まり、メンバーの「育LOM」に対する考えも方もアンケートを通して多く伺うことができた。

#### ⑥6月例会

活動・運動も折り返しを迎え設営やセレモニーなどのクオリティーが高くなってきたが、リハーサルでは慣れから生ずる不備があった。しかしながらその不備を修正し本番で挽回した点に、委員会としての成長を感じることができた。発展と成長の機会として何のために活動をしているのか、改めて考える切っ掛けとなる例会であった。

#### ⑦7月例会

7月例会は通常の例会に加え、次年度理事長予定者への当選証書授与が行われるということで多くのOBの先輩方をお迎えし、良い緊張感をもって臨むことができた。全体的にスムーズな進行ではあったが、OBの先輩方にご指摘をいただく点もあったため、今後の課題が見つかる例会となった。

#### ⑧8月例会

8月例会は単独例会として純粋な例会のみの設営であったが、新入会員のセレモニーや時間調整などメリハリを持って取り組み例会の本質的な部分を学ぶことができた。また、「東北青年フォーラムin栗原」が間近に迫り、理事長挨拶をはじめ会務報告や出向者報告を通して大会への意識や情報の共有を図ることができた。

#### ⑨9月例会

9月例会にはOB会会長をはじめとするOBの皆様にも冒頭からご参加いただき、総務委員会としてもいつも以上に緊張感をもって臨んだ例会となった。事前に現地調査やリハーサルをしっかりと重ね設営させていただき、その後に控える9月定時総会にスムーズにつなげることができた。

#### ⑩10月例会

10月例会は、本年度と次年度が交錯する多忙な時期のなか多くのメンバーに参加いただいた。今年度の純粋な単独例会としては本例会が最後であり、設営やセレモニーなどをリハーサル含めより一層確認しながら準備することで、スタッフ、新入会員ともども例会の本質を今一度認識しながら実行することができた。また、本年度を大成功に導き次年度へつなげる意識がより高まったと感じた例会となった。

#### ⑪11月例会

総務委員会としては11月例会の設営及び運営を担当させていただいたが、全体的に問題なく進行することができ、OBの先輩にご参加いただくことで良い緊張感の中で臨むことができた。また、例会後に行われた「久米賞・百合子賞授賞式」においては、与えられた役割以上のことを臨機応変に対応することが求められ、各自が状況を見ながら能動的に設営に当たることの重要性を改めて感じさせられた機会となった。

#### ⑫12月例会

2022年度最後の例会ということで、多くのメンバーとOBの先輩方にご出席、ご協力いただき、厳かな雰囲気の中で開催することができた。総務委員会としては、本年度最後の集大成とすべく緊張感をもって設営を行った。新入会員やスタッフ自らが主体的によく考え取り組み、1年間の成長を感じることができた例会であった。しかしながら、リハーサル時間や本番の時間が押してしまうなどの不備が見受けられたため、時間管理の難しさを痛感した例会となった。

### 3. 文書発送

毎月15日を基本とし、OB会会員、現役会員に事業案内などの文書、広報誌を発送した。

### 4. 新年会の設営

2年振りの新年会開催となったが、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期し臨み、(公社)郡山青年会議所の2022年度久保田理事長体制を来賓そして各地青年会議所メンバー並びに関係者へ広く発信することができた。設営面においては確認不足による不備があったが、メンバー一人ひとりが積極的に設営やリハーサルへのご協力をいただいたおかげで、大きな混乱もなくご来場いただいた皆様をお迎えすることができた。

### 5. 定時総会の設営

#### ①1月定時総会

1月定時総会は、鈴木 章弘議長、佐藤 広幸副議長による議事進行のもと、2021年度の事業報告や決算報告などの重要な議案が全員賛成で審議可決された。しかし、設営においては確認不足からくるミスも見受けられたため、事前準備の重要性を改めて実感した例会となった。新型コロナウイルス感染症の感染者数が拡大している状況ではあったが、多くの現役会員の皆様にご協力いただき無事に開催することができた。

#### ②9月定時総会

9月定時総会は、2022年度の補正予算、2023年度の役員、監事選任についての3議案を慎重審議いただき、スムーズな議事進行もあり滞りなく審議可決いただくことができた。また、次年度役員の紹介を行い、次年度へつなげる意識がより高まったと感じた。総務委員会としては事前に現地調査やリハーサルをしっかりと重ね設営させていただき、皆様のご協力もあり大きなミスもなく終えることができた。

#### ③12月臨時総会

12月臨時総会は、笠間中嶋 拓歩議長、笠間 寛副議長の議事進行のもと2023年度事業計画、2023年度収支予算について全員賛成にて可決承認いただいた。卒業式、送別会と同日開催ということで早い時間帯の集合であったが、多くのメンバーにご参加いただいた。設営においては、3回目の総会ということもあり一人ひとりが役割を意識して能動的に行動し、大きなミスもなく終えることができた。

### 6. 会員親睦事業の企画運営

5月例会と同日開催となった会員親睦事業の「SDGs×郡山青年会議所×こおりやま謎解きウォークラリー」では、我々の活動・運動やSDGsをご家族やお子さんに知っていただき、多くの笑顔で溢れる事業を行うことができた。新入会員にとっても、一から創る事業として試行錯誤や練習を繰り返し周到な準備のうえ本番を迎えることで、より絆を深め確かな成長を感じる機会となった。当日は設営などに不備が生じたが、メンバーとご家族の皆様のご協力をもって最後まで安全にやり遂げることができた。

### 7. 福島ブロック大会in二本松参加引率

本年は、「Yes, We Love ～笑顔あふれる ほんとうの空～」のスローガンのもと、二本松の地で開催された福島ブロック大会であった。新型コロナウイルス感染症の収束が不透明なかでの福島ブロック大会であったが、多くのメンバーに参加いただき、様々な気づきと学びを得る機会となった。また、福島ブロック協議会へ出向しているメンバーを応援することができ、昨年9月に東北青年フォーラムを主管したLOMとしての感謝を示すこともできた。引率に関しては大きなトラブルはなく、また猛暑日ではあったが体調不良者を出すこともなく無事に終えることができた。

#### 8. うねめまつり参加引率

3年振りの開催となったが、(一社)奈良青年会議所の皆様を郡山へお招きし、新入会員を中心に総務委員会一丸となりおもてなしをすることができた。準備段階から実地開催された際のことを思い出しながら新入会員を中心に企画を練って臨んだが、当日は予想外のことも起こり多くの反省点もあった。しかしながら、新入会員の行動力と当日までの努力には目を見張るものがあり、多くの皆様へ成長ぶりをご覧いただく機会ともなった。また、出席いただいたメンバーの皆様の協力のお陰で(一社)奈良青年会議所の皆様との更なる友情を育むことができた。今回がリスタートとして、今後の交流の新たな礎となる事業であった。

#### 9. 奈良公式訪問

本年は3年振りの「うねめまつり踊り流し」にての交流も開催され、本事業も開催予定で計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、奈良市の采女祭は規模を大幅に縮小しての開催となったため中止となった。「うねめまつり踊り流し」に続き、互いの友情をさらに深める機会の実現のために総務委員会でも準備は進めており、新入会員も奈良の地へ赴くことを楽しみにしていたが、叶わなかった。次年度以降はこの計画をベースに活かしていただき、実地開催へつなげられるよう期待する所存である。

#### 10. 卒業式の企画運営

ご卒業生9名に対して、これまでのJC活動に対する感謝と敬意の心をお伝えするべく開催し、ご卒業生のこれまで活動してきた想いを伺える貴重な時間となった。また、多くのメンバーの皆様とOBの先輩方にご参会、ご協力いただき盛大に開催することができた。設営においては、確認不足からのミスが見受けられる部分もあり、改めて事前準備の重要性を痛感する機会となった。

#### 11. 常任理事会、理事会等諸会議の設営と運営、その他庶務に関する業務

毎月開催された常任理事会と理事会の設営、議事録作成を行った。

#### 12. 総会資料、会員名簿、名刺の作成

定時総会、臨時総会、会員名簿、名刺の作成を行った。

#### 13. 会員拡大に関する情報収集

新たな情報を持っている新入会員を中心に情報収集や声かけなど積極的に行った。

#### 14. その他理事長所信に基づき行なう事業

「凡事徹底」をスローガンに、総務委員会一丸となって一年間運動に邁進してきた。新入会員は毎月の例会設営や各種会議を通してLOMの基本を学び、セクレタリーや各種事業などへの参加から青年会議所運動・活動の意義や目的、そしてまちづくり、ひとづくりについて学ぶことができた。また、総務スタッフも新入会員と様々な機会を経験し、今一度基本に立ち返ると同時に、時代に即した会議運営を通し共に学び自らも成長し、広い視野を持った人財へと成長することができた。一年間を通して、メリハリのある行動が身に付き新たな絆を得たことで、その蓄積が今後の自信となり郡山青年会議所の更なる発展と、愛と笑顔が溢れる郡山の創造へとつながることと確信している。そして、「すべての行動には意味を伴う」という物事の本質を委員会メンバー全員が捉え、この経験をもとに次年度以降もより一層JC運動、活動に邁進し、人の心を動かすリーダーとして相応しい人財となるよう願う所存である。最後に、このような貴重な機会をいただいた久保田理事長、矢吹専務、そしてご協力いただいたすべての皆様に心より感謝申し上げる。

## 2022年度 会員開発委員会

委員長 山本 将司  
副委員長 堀川 武尊

### ★委員会スローガン

# いつも人から

### ★事業方針

昨今、新型コロナウイルス感染症拡大により、郡山青年会議所は運動のあり方について見直しを余儀なくされた。そのため今までと同じような形で運動を行うことができず、地域との繋がりが希薄化している。我々は今一度郡山を想うあらゆるパートナーと新しい時代に即した運動で繋がりを強め、組織の意義や考え方を伝播させることで共感者を増やし会員拡大に繋げる必要がある。

会員開発委員会では、ウィズコロナにおける環境の変化を委員会メンバーが理解し、OB会会員との交流やJC運動・活動の意義について学ぶ機会を提供しながら、青年会議所の歴史や伝統を運動や交流を通して会員拡大を行う。また、郡山青年会議所と地域が繋がるよう時代に即した形で会員の魅力を多くの方に発信し同志を増やしていく。

この運動により地域との繋がりを強め、新たな同志が組織の意義や考え方に共感して会員拡大が達成される。それにより組織の意義や考え方に共感した同志が増えることによりJC運動の効果の最大化が実現され、魅力的な運動を展開していくことで社会を変革する人財へと成長し、愛と笑顔溢れる郡山を創生し明るい豊かな社会の実現に繋がっていく。

### ★事業計画〔開催予定月〕

- |                                           |       |
|-------------------------------------------|-------|
| 1. 新入会員オリエンテーション<br>並びに現役会員向けセミナーの実施（室合同） | 〔2月〕  |
| 2. 4月例会・チェリーパーティの企画・運営                    | 〔4月〕  |
| 3. 会員の資質向上事業                              | 〔9月〕  |
| 4. 全国大会おおいた大会参加引率                         | 〔10月〕 |
| 5. OB会会員との交流                              | 〔通年〕  |
| 6. 新入会員候補者との交流                            | 〔通年〕  |
| 7. 会員拡大及び会員拡大の取りまとめ                       | 〔通年〕  |
| 8. SNSを活用した委員会の紹介                         | 〔通年〕  |
| 9. その他理事長所信に基づき行なう事業                      | 〔通年〕  |

参考：会員拡大計画スケジュール

○逐一行うこと

- ① 候補者リスト先に訪問及び面談
- ② 各委員会の取材及びSNSの投稿

2021.	12月	会員拡大用候補者リスト引継ぎ及びリスト精査
2022.	1月	各委員会への候補者紹介ご依頼 リスト作成・配布開始・個別面談・面談実行 (新入会員候補者・現役会員に配布)
	2月	拡大ツールの作成
	3月	第1回会員拡大会議
	6月	第2回会員拡大会議
	7月	9月事業へ候補者を募る
	8月	第3回会員拡大会議
	9月	資質向上事業へ会員候補者と同行
	10月	第4回会員拡大会議
	12月	次年度への引継ぎ

### ★事業報告

#### 1. 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向けセミナーの実施

今年度の基礎研修では新入会員に向け、郡山JCの歴史などを通してJC運動・活動の意義を学ぶ場を提供した。資質向上研修では今野辰哉先輩に講師を務めていただき、新入会員・現役会員ともに資質向上について学ぶことができた。本来、事業計画では2月の開催だったが新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を見直したこともあり3月の開催になった。広報委員会と連携をとることにより、新入会員へJCという組織の奥深さを知っていただく機会となった。

#### 2. 4月例会・チェリーパーティーの企画・運営

4月例会は総務委員会との合同での設営ということもあり、同日同会場での開催であったがメンバーの皆様のご協力のお陰で滞りなく例会を開催することができた。3年振りに開催されたOB会会員の先輩方との交流の場であるチェリーパーティーでは、席移動の制限はあったものの多くの先輩方から様々なお話を伺うことができ、大変有意義な時間を過ごすことができた。

#### 3. 会員の資質向上事業

9月から11月に講師にU s s i y氏を招き、インターネットやSNSの広報の伝達手段を学び、JCにおいても発信を工夫し興味を持ってもらえる情報を上手く使い分け、届けたいターゲットに届く手法を学ぶことができた。しかし、残念ながら一般市民の出席率が低い結果であり、集客に時間を割くことが出来なかった。今後は、会員開発委員会としてもメンバーの出席率を向上させる工夫を取り入れ対応していく必要があると考える。また、参加者にとってより魅力的な講演会となるよう工夫も必要であったと反省する。

#### 4. 全国大会おおいた大会参加引率

おおいた大会メイン会場である昭和電工ドームで開かれた式典では、中島会頭の一点の曇りもない素晴らしいスピーチの後、大会テーマでもある「愛を抱いて進め、JAYCEE！」の言葉で挨拶を締めくくり今年度の活動を総括した。また、次年度会頭の麻生将豊君を充てる人事が正式決定し「世界に冠たる日本を取り戻す理念の下、全力でまい進する」と語っていた。今回の引率は、日ごろ多くのメンバーで活動や、学び、の時間をとっており、これは何のためにやっているのか再確認する時間とすることができた。そして多くのJCメンバーから、「まちのため、尊い有限な時間を全力で生きる」素晴らしさを学ぶことができた。一人ひとり、さまざまな事情を抱えながらも必死に全力で活動に取り組む姿に感銘を受けたおおいた大会の引率となった。

#### 5. 会員拡大及び会員拡大の取りまとめ

今年度は、会員拡大の前半に元々あったリストの精査と、メンバーでリストに記載している候補者の所に伺って直接話をすることに力を入れた。当初、募集人員25名と目標を立てていたが新入会員候補者は9名と少ない結果になってしまった。

#### 6. その他理事長所信に基づき行なう事業

理事長所信にも掲げている「Just keep going!～前進あるのみ!～」を念頭に、青年会議所の魅力を候補者一人ひとりに伝えていき、年初に候補者リストを更新し、委員会内で候補者の担当を決め一人ひとりが情報提供者に電話連絡していき、情報提供者には候補者との個別面談までのアポイントを協力していただくという手法を実施した。例会での会務報告や様々な事業後の懇親の場では、今の郡山青年会議所の会員減少傾向に歯止めをかけるために必死に訴え続け、いただいた候補者の情報に対するレスポンスを早くしっかり行うよう努めた。来年度以降も当事者意識を持ち取り組んで参りたいと強く感じた。

会員拡大を通して感じたことは、多くのメンバー一丸となって候補者に声を掛けてもらえて入会に至ったケースが多かったということである。そしてOBのご子息には多くの潜在能力の高い方が多い一方、入会を躊躇しているという一面がみられた。多くの候補者と話をして郡山青年会議所という団体の活動・運動内容をご理解いただきコミュニケーションを深めていくことで疑問や不安要素を払拭することが入会のきっかけになったと感じた。

最後に、ご指導とご鞭撻、ご協力を賜りました諸先輩、そして私と共に拡大に尽力してくれた多くのメンバーの皆様、皆様のお陰で最後まで突き進むことが出来たと確信している。私たちが導き出した新入会員が大きく羽ばたくことを期待している。一年間ありがとうございました。

## 2022年度 広報委員会

委員長 武田 淳  
副委員長 菅野 展寛

### ★委員会スローガン

# 波及共感

### ★事業方針

近年情報化社会のなかで情報が得やすくなった反面、自身が知り得たい情報ばかりを調べてしまう選択的接触や、誤った情報を正しいと認識し更に拡散してしまう場合がある。情報化社会において我々は、情報の収集から発信に至るまで媒体の特徴を掴み、使い分け、必要な情報を選択すると共に、このまちをより良くすることができる我々の運動・活動を伝播させる必要がある。

そのためには、我々から問題点を調べるだけでなく市民の秘めたる想いに今まで以上に耳を傾け、LOM事業の一助となる情報の源泉の創出とより効果的な情報発信を行っていく。広報誌やホームページ、SNSでは、メンバーのより一層の能動的な情報収集と多様な媒体の特徴を生かした、タイムリーで情報発信の対象層にあった発信を行い、「伝える」だけでなくそこからさらに「広がる」広報活動を行う。「久米賞・百合子賞」では、より多くの子どもたちに同賞への共感等を得てもらい、地域教育の一助となるよう年齢層にあった媒体を中心に募集、発信を行う。

地域に希望をもたらず変革の起点として、時代に即した発信を行い、多くの共感者を増やし同志を増やしていくことで愛と笑顔が溢れる郡山の未来を実現する。

### ★事業計画〔開催予定月〕

- |                                           |             |
|-------------------------------------------|-------------|
| 1. 地域アンケート                                | 〔1月・6月〕     |
| 2. 新入会員オリエンテーション並びに<br>現役会員向けセミナーの実施（室合同） | 〔2月〕        |
| 3. 第61回「久米賞・百合子賞」実行委員会の設置                 | 〔2～12月〕     |
| 4. 広報誌発刊                                  | 〔1・5・8・12月〕 |
| 5. サマーコンファレンス参加引率                         | 〔7月〕        |
| 6. 11月例会の運営・第61回「久米賞・百合子賞」授賞式             | 〔11月〕       |
| 7. ホームページ企画・運営・管理                         | 〔通年〕        |
| 8. メールアドレス・メーリングリストの管理                    | 〔通年〕        |
| 9. LOM事業の取材                               | 〔通年〕        |
| 10. SNSの運営・管理                             | 〔通年〕        |
| 11. 会員拡大に関する情報収集                          | 〔通年〕        |
| 12. その他理事長所信に基づき行なう事業                     | 〔通年〕        |

### ★事業報告

#### 1. 地域アンケート

本年は事業を開催する前に地域の方々の声を集め、私達の事業をより地域に寄り添ったものにするべく地域アンケートを1月、6月の計2回実施した。KPI数値目標は達成できなかったが、本事業を通して一般の方々からの様々な声を集めることができ、次年度以降の理事メンバーへ情報共有することができた。また、アンケート事業を行うにあたりホ

ームページやSNS等の各種ツールを使用した。ツールのみではなく、私達メンバーが直に動くことで本事業への想いを伝え、共感をいただき、事業参加をしていただく必要性を改めて感じた。

## 2. 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向けセミナーの実施（室合同）

新型コロナウイルス感染症の影響により1日での開催となったが、新入会員に各研修を通して青年会議所の運動・活動の本質を学ぶ機会とすることができた。広報委員会としても指導力開発室合同開催事業ということで運営及び事業の発信を行い、メンバー間でも共有することができた。

## 3. 第61回「久米賞・百合子賞」実行委員会の設置

61年目を迎えた「久米賞・百合子賞」は、本年も新型コロナウイルス感染症が蔓延している中での開催となった。本年は原点に戻り、メンバー全員で実際に足を運び各学校へ依頼することで、「久米賞・百合子賞」の意義を伝えることで、全237作品の応募に繋げることができた。また審査員、実行委員会役員、学校関係者の皆様のご協力もあり本年度は小説、詩それぞれで正賞受賞者を輩出することができたことは嬉しく思う。この動きを次年度以降へも繋げていき、歴史ある文学賞を今後も紡いでいく。

## 4. 広報誌発刊

本年度は私達の運動・活動により共感をいただけるような広報誌を目指し、広報誌の発刊を行った。実際に運営や担当として携わったメンバーの経験や感想を掲載し、どのような学びの機会や経験に繋がったか知っていただくことで、私達の想いを知っていただける記事を掲載し共感の輪を広げることができた。

## 5. サマーコンファレンス参加引率

本年度は3年振りに郡山青年会議所としても多くのメンバーで実地参加をする機会となった。「しくみの数だけ、幸せがある」をテーマとしたサマーコンファレンス2022では、日本青年会議所の運動内容を発信するセミナーに参加したことで地域課題の解決に向けた多くの学び、気づきを得る機会となった。また、奈良青年会議所様との実地での交流を図ることで改めて姉妹JCの関係性の大切さを学ぶ機会にもなった。

## 6. 11月例会の運営・第61回「久米賞・百合子賞」授賞式

本年も新型コロナウイルス感染症が蔓延する中での開催ではあったが、受章者である中学3年生の表彰を盛大に行うことができ、保護者の皆様や学校関係者の方々から多くの感謝のお言葉を頂戴することができた。また古川日出男氏の講演会を開催し、参加した皆様へ夢を持っていただくことの大切さを学ぶ機会を提供することができた。

## 7. ホームページ企画・運営・管理

本年度は広報誌同様ではあるが、より地域の方々から共感をいただける運動発信を目指してホームページ及びSNSの管理・運営を行った。

## 8. メールアドレス・メーリングリストの管理

2022年度郡山青年会議所の対内にて使用するメーリングのアドレスの作成及び管理を行った。

## 9. LOM事業の取材

本年度の開催された事業へ参加しより事業内容や参加者の感情が伝わる発信を目指して取材を行った。また事前の告知をホームページ等に特設ページを作成し広く発信を行った。

## 10. SNSの運営・管理

本年はFacebookを事業のリアルタイム発信、Twitter・Instagramは事業後に運動を広く発信するツールとして管理・運営を行った。Facebookのリアルタイム発信については参加メンバーの数や事業の特性上難しいこともあり、全ての事業でできなかった点は次年度以降への迅速な発信への引継ぎを行い、より早く、より広い情報発信に繋げていく。

### 11. 会員拡大に関する情報収集

本年度はSNSにて会員開発の運動発信を行い、広く周知を行った。しかし、ホームページや広報誌では主だった活動が行えなかった点は次年度以降への引継ぎを行い、改善に繋げていく。

### 12. その他理事長所信に基づき行なう事業

2022年度は「Just keep going!～前進あるのみ!～」の理事長スローガンの基、広報委員会として地域に今まで以上に郡山青年鍵所の運動・活動の効果が伝わり、共感を頂けるような情報発信に努めてきました。1年を振り返り郡山青年会議所メンバーの想いをよりリアルに体外に発信すると共に、地域の皆様の想いを我々が知る機会を創出することで、互いの考えや想いを知り、共感を生み出すことの一助になれたのではないかと考えています。本年このような機会をいただきました久保田理事長をはじめとする理事の皆様と1年間広報委員会へご助力、ご指導いただきました全ての皆様に感謝を申し上げますと共に、改めて広報委員会のメンバーへも心からの御礼を申し上げて事業報告とさせていただきます。

## 2022年度 まちづくり委員会

委員長 望月 俊弥

副委員長 大橋 俊博

★委員会スローガン

# 必要至急

～この時代に求められるものを～

★事業方針

近年、郡山市において市外への人口流出が続いている。総務省が全国の地方公共団体を対象に実施したアンケートでは、約9割の団体が、「良質な雇用機会の不足」が人口流出の原因であると答えており、若者にとって魅力的な就業機会の不足が人口流出の大きな要因であると考えられる。若者にとっての魅力とは、将来まで見据えた生活設計を立てられることであり、そのような就業機会を実現できる産業の創出が急務となっている。

まちづくり委員会は、産官学民の知識を集積するとともに、これまで培ったあらゆるパートナーとの繋がりを活かし、こおりやまの持つ地域資源や可能性を多くの企業、団体と考えることで新たな価値を創出し、市民に発信する事業を行う。

この運動によって、こおりやまの持つ地域資源や可能性から新たな魅力や価値が生まれ、持続可能な産業の創出につながり、魅力的な就業機会の増加が実現される。そして、若者がこのまちで働き続け、また、このまちに住み続けることで、まちへの誇りやまちへの愛が生まれ、愛と笑顔が溢れるこおりやまの創造へと繋がっていく。

★事業計画〔開催予定月〕

- |                      |       |
|----------------------|-------|
| 1. まちづくり事業に向けた勉強会    | 〔6月〕  |
| 2. 東北青年フォーラムin栗原参加引率 | 〔9月〕  |
| 3. まちづくり事業           | 〔10月〕 |
| 4. 会員拡大に関する情報収集      | 〔通年〕  |
| 5. その他理事長所信に基づき行なう事業 | 〔通年〕  |

## ★ 事業報告

### 1. まちづくり事業に向けた勉強会

「郡山魅力サミット～あなたがいるから、できること～」

本事業では、10月に行うメインのまちづくり事業に向けての学生、企業、団体とのマッチングの場の事業を行った。最初に講師をお招きし、様々な人と新たな価値をつくることの大切さについて講演をいただいた。次に学生がそれぞれ考える郡山の魅力についてプレゼンを行い、その後に各企業とのマッチングを行って、学生、企業、団体が共に考える郡山の魅力の実現へと向かう事業になった。

### 2. 東北青年フォーラム in 栗原参加引率

「次代の新潮流を掴め！共に駆け出そう！東北の資源を活かした新たな価値の創造へ」をスローガンのもと運営された本大会に参加し、宮城県栗原市の「風土、伝統、文化、食」に触れることが出来、東北地区協議会メンバーの結束の強さと東北は一つという意思統一を感じる事ができる大会であった。各種セミナーやフォーラムに参加することでさらに気づき・学びを得ることが出来たが、その一つひとつの設えに3年ぶりの実地開催を成功させようという主管LOMの想いを感じ取ることが出来る大会であった

### 3. まちづくり事業

「魅力発見！こおりやま」

郡山魅力サミットでマッチングした学生、企業と一緒に郡山の魅力を実現し、来場者へ発信する事業を行った。郡山の魅力に触れ合い地域に対する興味、関心を更に深め、老若男女問わず、参加した多くの市民が闊達な学生と企業との関わりに関して興味をもっていただき、それぞれの参加団体も継続して活動していることから目的であった新たな産業の創出に向けて助力となる事業であった

### 4. 会員拡大に関する情報収集

今年度は企業、学生と協働したまちづくりを展開し、多くの接点をもつことができた。そこから青年会議所活動に対して参加企業から関心、興味を持っていただき会員開発委員会と情報を共有し会員獲得へつなげることができた。

### 5. その他理事長所信に基づき行う事業

本年「必要至急～この時代に求められるものを～」をスローガンに、まちづくり委員会心を一にし、郡山青年会議所の運動に邁進してきた。本年度はコロナ禍から日常へ戻りつつある状況から、コロナ以前のように多くの市民や行政、諸団体を巻き込み、運動を展開してきた。その中でも、「魅力発見！こおりやま」においては、学生と企業が郡山の魅力を協働して実現したものを発信ことで、地域に対する興味や学生と企業の関わりについて関心を

深めていただけたと感じている。この運動をきっかけとし、学生、企業、団体が互いの良さ、思いを共有することで新たな価値の創造に繋がっていく。その為にも、我々青年会議所は前進し続け、愛と笑顔が溢れる郡山の未来へとつなげていかなければならない。

最後にまちづくり委員長という貴重な機会を与えていただいた、久保田理事長、そして専務、様々な場面においてお力添えをいただいた、全てのメンバーに心から心から御礼を申し上げます。1年間本当にありがとうございました。

## 2022年度 青少年育成委員会

委員長 飯島 悠希  
副委員長 阿部 圭祐

### ★委員会スローガン

# One for all, All for one

～郡山の未来のために～

### ★事業方針

毎年のように全国各地で発生する自然災害や新型コロナウイルスの影響による社会情勢の変化に伴い、子どもたちを取り巻く環境は目まぐるしく変化している。現代の子どもたちは東日本大震災を経験していない世代が多いため、過去の記憶や教訓を伝えるとともに、不測の自然災害時における自助の意識を向上させなければならない。また、コロナ禍により従来の生活が一変し、学校や日常においても交流事業やグループ活動が減少しているため、共助につながる協調性を培う機会を提供する必要がある。

青少年育成委員会では、身近に起こりうる様々な課題を子どもたちが自ら考え行動し、参加者同士で協力して乗り越えることで、災害時における一人ひとりのレジリエンスの向上と互いに助け合う大切さを学ぶ事業を展開する。また、わんぱく相撲ではスポーツマンシップを通して礼節を学び、相手に対する敬意の心を育み健全な成長の機会をつくる。

これらの事業を通して、子どもたちは主体的に行動する力と協調性を身に付け、自助と共助の精神を育むことができる。そして、豊かな人間性をもって成長し、郡山の未来を支えるレジリエンスを備えた人財となる。

### ★事業計画〔開催予定月〕

- |                                                  |         |
|--------------------------------------------------|---------|
| 1. 京都会議参加引率                                      | 〔1月〕    |
| 2. 第57回郡山市こどもまつりへの参画                             | 〔5月〕    |
| 3. わんぱく相撲郡山場所の開催・福島ブロック大会引率<br>全国大会・女子全国大会への参加引率 | 〔5月～8月〕 |
| 4. 青少年育成事業の開催                                    | 〔9月〕    |
| 5. 会員拡大に関する情報収集                                  | 〔通年〕    |
| 6. その他理事長所信に基づき行う事業                              | 〔通年〕    |

### ★事業報告

#### 1. 京都会議参加引率

初のハイブリッド開催となった本年度の京都会議は2022年度最初の遠征事業であったが、新型コロナウイルス変異株感染拡大の影響によりLOMとしての実地参加は見送りとなった。担当委員会としてできることを最大限に行い、多くのメンバーに視聴を促した。新年式典での会頭所信から本年度日本青年会議所の運動・活動の方向性をLOMメンバーと共有し、様々なセミナーやフォーラムを視聴することにより、我々が本年どのように行動していくべきなのかを考えるきっかけとなった。

次年度段階から準備計画していた2年ぶりの実地参加は叶わなかったが、WEB配信という利点を活かし、現地参加では従来不可能だった数多くのセミナー視聴が可能な京都会議

となった。新しい時代における参加方法を広く認識することができたことと、多くのメンバーの皆様にご視聴いただき無事に終了できた。

## 2. 第57回郡山市こどもまつりへの参画

本年はコロナ禍で実地開催することを目標に実行委員会内で様々な感染拡大防止対策を考え、3年ぶりの開催に向けて準備を行っていた。4月中旬以降郡山市内で感染者数の急増が見られ、その多くが学校や幼稚園等において子どもたちを中心とした感染拡大が広まったことが要因であった。こどもまつりに来場する未就学児へのマスク着用による感染対策が徹底できないことや、数千人規模の来場者全員を登録制によって管理することが現実的ではないことなどを理由として保健所から中止の要請があったことにより、開催することが叶わなかった。

委員会としても初の担当事業に向けて準備を進めていただけにとっても残念な結果となったが、この経験を今後の事業に活かし本年度の運動活動に取り組むきっかけとなった。

## 3. わんぱく相撲郡山場所の開催・福島ブロック大会引率全国大会・女子全国大会への参加引率

こおりやま場所では会場に120名以上の方々に来場いただき、3年ぶりとなる大会開催に関して参加児童の保護者や引率教員、大会関係者から多くの感謝の言葉をいただいた。また、勝ち残った男子5名は福島ブロック大会へ出場を果たし、見事男子1名が優勝し全国大会への切符を手にした。全国大会は福島ブロック一丸となって引率と応援を行い、わんぱく力士たちが事業を通じて礼節を学び、敬意の心を育み、どのような環境下でも新たな一歩を踏み出すことの大切さを伝えることができた。児童のご両親と校長にも大舞台での貴重な経験への感謝と労いの言葉をいただき、その後に行った各小学校への次年度大会へ向けた参加促進アプローチも全校から前向きな意向を得ることができ、3月から続いた事業を無事に締めくくることができた。

こおりやま場所から全国大会終了まで多くのメンバーの皆様及び大会関係者の方にご協力をいただき無事に開催できたことに委員会一同心より御礼申し上げる。

## 4. 青少年育成事業の開催

「郡山市社会福祉協議会との災害時等における協力体制に関する協定書締結」

従来までのお互いの問題点を解決し郡山市を想うパートナー同士の連携を強化すべく、本協定を締結することで郡山市社会福祉協議会様から郡山青年会議所への連絡体制を整備し、市民が必要としている支援の正確な情報を行政から得ることが可能となった。

お互いの強みを活かし弱みを補い合って協働することによって、支援を必要とする郡山市民を迅速かつ総合的に支援し持続可能な未来の郡山に繋がることを期待する。

「防災体験キッズワークショップ～体感型防災アトラクション～」

2年以上続く新型コロナウイルス感染症拡大のなか、参加者が安心して参加できるよう考えうる限りの感染対策を徹底して開催した。体験を通して学んだ自助と共助の意識を今後子どもたちが自身や周囲、地域のために少しでも活かしていただき、レジリエンスのある未来の郡山に少しでも役立てることができたら幸甚である。また、消防と警察、学生の皆様にも事業参加に関して多くの感謝の言葉をいただくことができた。本事業をきっかけに今後の郡山青年会議所の運動・活動が様々なパートナーと共に協働することで、明るい未来の地域づくりへのきっかけとなることを期待する。

長らく続くコロナ禍により多くの来場者を対象とした郡山青年会議所の実地事業が縮小していたこともあったため、安全対策を万全にすることで実地開催は可能であることを示すことができた。事業目的の達成だけでなく現役メンバーの経験と今後の活動における指針、青年会議所事業に対する意欲向上の一助となっただけなら幸いである。本事業開催に

において、事前の告知や当日の補助にご協力をいただいた全ての現役メンバーに委員会一同感謝申し上げます。

#### 5. 会員拡大に関する情報収集

青少年育成の事業を通じて新入会員候補者の情報を収集し、会員拡大のために積極的な声掛けを行い、会員開発委員会への情報共有を図った。

#### 6. その他理事長所信に基づき行なう事業

本年は「One For All, All For One ～郡山の未来のために～」の委員会スローガンのもと、様々な青少年育成事業を通して子どもたちが主体的に行動する力と協調性を身に付け、自助と共助の精神を育み豊かな人間性をもって成長することで郡山の未来を支えるレジリエンスを備えた人財となることを目的として青年会議所運動・活動を展開した。

2022年も続いた新型コロナウイルス感染拡大の影響下において、3年ぶりとなる「わんぱく相撲こおりやま場所」や「防災体験キッズワークショップ～体感型防災アトラクション～」は安全安心な事業開催方法を議論し実地にて開催した。事業開催時には多数の関係者や来場者から感謝の言葉をいただき、子どもたちへの機会の提供を通してアフターコロナでの青年会議所運動・活動の指針を示すことができたと思う。

また、多くの来場者を見込む実地事業においてLOMメンバーの皆様のご協力なくして我々の事業を無事に終えることはできなかった。このような貴重な機会を与えていただいた久保田理事長、そして矢吹専務をはじめとし、ご助力いただいたLOMメンバーの皆様に委員会一同心から御礼申し上げます。

## 特別委員会報告

### 選挙管理委員会

委員 長 金山 慶一  
副委員 長 二瓶 一嘉  
委員 菅野 浩二  
委員 黒田 大輔  
委員 大橋 俊博

公益社団法人郡山青年会議所令和5年度理事長選挙に先立ち6月10日に第1回選挙管理委員会を開催し、委員の互選にて正副委員長を選出した。

「公益社団法人郡山青年会議所定款」第29条並びに「公益社団法人郡山青年 会議所役員選出に関する規定」に基づき、下記日程の通り選挙を実施した。

1. 選挙告示文書の発送 6月27日
2. 令和4年度選挙人名簿の作成 7月10日
3. 第3回選挙管理委員会 7月15日
4. 選挙権・被選挙権を有しない会員への告示文書の発送 7月15日
5. 立候補届出受理期間 7月13日～15日

結果、芝田銀平君1名の立候補があり、「公益社団法人郡山青年会議所役員選出に関する規定」第13条に従い、厳正なる審査の結果、芝田銀平君を当選人とし、7月16日をもって当選告示し、7月21日の公益社団法人郡山青年会議所7月例会の席にて当選証書を授与した。また、9月21日の9月定時総会にて、当選人の報告をした。

### 褒章委員会

委員 長 柳沼 勝恵  
委員 大槻 俊介  
委員 芝田 銀平  
委員 安齋 元喜  
委員 高橋 章太

公益社団法人郡山青年会議所褒章規定に基づき、厳正かつ公正なる審査の元各褒章受賞者を決定し、12月例会にて表彰をおこないました。

個人賞においては対象者の出席率が僅差であるなか、最優秀賞と優秀賞の区別をどのようにつけるべきか委員会内で議論する場面がありましたが、本年は遠征事業の参加方法などを判断基準に加え決定させていただきました。今後も各種事業や遠征の参加方法が柔軟に変わっていく中で、褒賞の基準もそれに合わせて柔軟に変えていく必要があると感じました。

また本年も理事長特別賞を設けていただき、様々な環境下にある多くのメンバーを対象に褒賞事業を開催することができました。選考にあたりご協力いただいた各室長、委員長の皆様に感謝申し上げますとともに、受賞されたメンバーはじめ、その受賞者を支えたすべてのメンバーの皆さまの今後益々の活躍を祈念し報告とさせていただきます。ありがとうございました。

記

【最優秀 J A Y C E E 賞】	佐久間 郡 君
【優秀 J A Y C E E 賞】	三瓶 卓也 君
	圓谷 紀幸 君
【最優秀グループ賞】	青少年育成委員会
【優秀グループ賞】	広報委員会
【優秀新人賞】	石黒 恵太郎 君
	紀乃 知佳 君
	菅 洋滋朗 君
【理事長特別賞（エスポワール賞）】	土屋 繁太郎 君
	橋本 直樹 君
	大原 慶大 君
【10年表彰】	金山 慶一 君
	芝田 銀平 君
	柳沼 勝恵 君

以上

会員選考委員会

委員	長	新田 義幸
委員		金山 慶一
委員		佐久間 悠治
委員		山本 将司
委員		大越 惇平
委員		佐久間 郡
委員		黒田 大輔

本年度は、入会候補者の意思が確認された後に、速やかに面接及び会員選考委員会を開催した。面接は公益社団法人郡山青年会議所会員資格規則第2章正会員の入会に基づき行い、会員選考委員会にて厳正に審査を行った。その結果として、2023年度の正会員として新入会員9名を当青年会議所の会員として適格と認め理事会にて承認をいただいた。

なお、2023年度正会員の新入会員は以下の通り。

安藤 礼重君、遠藤 誠也君、石井 聡彦君、橋本 源矢君、阿部 将来君、鈴木 光晴君、渡邊 みゆき君、今泉 佳顯君、黒田 容君

## 出向者報告

(公社) 日本青年会議所

組織改革委員会

副委員長 大槻 俊介

小幹事 新田 義幸

委員 圓谷 紀幸

はじめに、本年度公益社団法人日本青年会議所 共創グループ 組織改革委員会に出向させていただきましたことに、久保田理事長をはじめとするメンバーの皆様に心より感謝申し上げます。

本年度組織改革委員会では、「一人ひとりが時間の大切さを意識して 仕事も家庭も J C も共に取り組める組織」作りを目標に様々な運動を展開してまいりました。

京都会議では多様性の重要性を全メンバーが再認識できるよう、女性・トランスジェンダー・障がい者といった多様な個性を持つメンバー同士が多様な社会・J C の在り方について議論していただきました。映像配信のみの事業ではありましたが、多くの閲覧やご意見をいただき各地会員会議所が多様性に富んだ組織へと変化する意識付けとなりました。

サマーコンファレンスにおいては障がい者の独自の感性をアート分野で開花させ、経済的自立を推進する(株)ヘラルボニー 代表取締役 松田 崇弥 様と高橋委員長の対談形式の動画を作成し、多様な個性を「才能」として捉える柔軟な思考、障がい者の支援という形で満足せずビジネスとして持続可能な形をつくる強い意志、経済人として社会問題に立ち向かう姿勢がいかに重要かを発信いたしました。知識として理解はしていても、実際に障がい者や多様な個性を持つ人々とどのように接し、就業をはじめとする様々な機会を提供したらよいかわからないといったメンバーからは参考になったと多くの感謝の言葉をいただきました。

本会で得た様々な経験を L O M に還元し、今後より一層多様な個性が活躍する組織となるべく全力で J C 運動・活動に取り組むことをお誓い申し上げ出向者報告とさせていただきます。一年間、本当にありがとうございました。

まちのレジリエンス確立委員会

委員 佐久間 悠治

はじめに公益社団法人日本青年会議所まちのレジリエンス確立委員会に出向させていただきましたこと、久保田理事長をはじめとするLOMメンバーの皆さまに感謝申し上げます。本年度まちのレジリエンス確立委員会は「国家全体のレジリエンスを向上させるハードインフラ投資の推進」「宇宙の可能性を利活用する中小企業ビジネスの推進」「有事に備えた関係諸団体との連携による防災ネットワーク構築の推進」の3つの柱で事業を展開させていただきました。近年、日本各地で発生する災害に対してJCはどんな対応をするべきか、とっさの時に動くために平時からできることは何か、委員会内で議論する中で沢山の考える機会をいただくことができました。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり実際に被災した地域でのボランティア活動などに参加することはできませんでしたが、各被災地で活躍するLOMや各団体との平時からの関係性など多くのものを学ばせていただきました。この学びをしっかりとLOMに還元し、来年以降の青年会議所の活動・運動に精進してまいります。一年間ありがとうございました。

会務担当副会長 柳沼 勝恵

はじめに、本年度、公益社団法人日本青年会議所 東北地区協議会 会務担当副会長の出向という大きな機会をいただきましたことに久保田理事長はじめメンバーの皆さまに心より感謝申し上げます。東北経済グループ担当副会長として「東北の資源を活かした新たな価値の創造」を基本方針に価値デザイン会議、東北グリーン社会確立会議の二つの会議体を担当し一年間活動させていただきました。

価値デザイン会議では「地域と企業の強みをつくる」をキーワードに、組織がいま求められる社会的責任や、価値デザインの基本的な考えや実際に地域課題を解決した実例をもとにしたセミナーを2回開催させていただきました。東北グリーン社会確立会議では東北における経済と環境が好循環するグリーン社会の確立を目的とした啓発動画の配信やカーボンニュートラルへの興味と理解を深め行動のきっかけをつくるため「カーボンニュートラルパーク」と題した体験型の事業を実施させていただきました。

東北青年フォーラムではメインフォーラムを担当し、東北のポテンシャルや今後の可能性について前宮崎県知事である東国原英夫さまの講演のなかでファシリテーターという大きな機会をいただきました。

一年を通し本当に多くの経験をさせていただき、出向という機会を与えていただきました久保田理事長には重ねて御礼を申し上げます。また一年間事務局次長として支えていただきました高橋章太君にも心より感謝申し上げます。この出向の機会を得た経験を今後のJ C運動、活動に活かしていくことをお誓い申し上げ出向者報告とさせていただきます。ありがとうございました。

事務局次長 高橋 章太

本年度、公益社団法人日本青年会議所 東北地区協議会の事務局次長として出向させていただきました。事務局としては主に各種会議の設営や懇親会の設え、J C I A S P A C堺高石市ジャパンナイトブース事業、東北青年フォーラム i n 栗原内で開催された褒賞事業などを担当させていただきました。

各会議につきましては新型コロナウイルス感染症の影響によりWEBを利用したハイブリッド会議での設営となりましたが、役員の方々の多くは出来る限り現地での参加をされておりました。直接顔を合わせて会議を行うことで事業にかける想いが伝わり、その後の懇親会によって一体感が生まれることでさらに議案書がブラッシュアップされていくという好循環を目の当たりにし、改めて対面でコミュニケーションを取ることの大切さを実感する事が出来ました。

J C I A S P A C堺高石市ジャパンナイトブース出展事業では東北の魅力をPRするために、東北の伝統文化であるお餅や東北各地のお祭りを紹介するブース出展を行いました。当日は多くの役員の皆さまにもお手伝いいただき、各地区のブースの中でも随一の盛り上がりを見せておりました。東北地区協議会が一つになることで東北の魅力を存分にPRする事が出来たとともに、今後の事業や東北青年フォーラムの成功に向けて弾みをつける事業となりました。

東北青年フォーラム i n 栗原において開催された褒賞事業であるAWARDS T O U

HOKU 2022では司会という重要な担いをいただき、事務局一丸となって設営を行いました。事業内では我々が郡山青年会議所の2021年度まちづくり委員会事業であります「MUSIC TOMORROW KORIYAMA」が組織共感プログラム部門において見事、最優秀賞に選ばれたこともあり、非常に誇らしい気持ちで担いを務められました。今事業を通して東北各LOMの素晴らしい事業を多くの皆さまに知ってもらうことができ、各LOMの今後の事業構築の一助となる設えとする事が出来ました。

今回の出向においては事務局次長としての担いを通じて学ぶことも非常に多かったですが、何よりも東北地区協議会の役員の方々と直接関わる事が出来たことと、東北青年フォーラムのような一大事業が構築されていく過程を間近で見られたということが私にとって大きな財産となりました。多くの気付きや学び、そして東北各地にかけがえのない仲間を得ることができた素晴らしい出向の機会を与えていただきましたこと、久保田理事をはじめとするメンバーの皆さまに改めて心より感謝申し上げます。この経験を活かし更に青年会議所の活動・運動に精進してまいります。1年間ありがとうございました。

東北青年フォーラム運営委員会  
副委員長 二瓶 一嘉  
幹事 大越 惇平

本年度は、(公社)日本青年会議所東北地区協議会東北青年フォーラム運営委員会に出向の機会をいただき、久保田理事長をはじめメンバーの皆様に感謝申し上げます。また、東北青年フォーラム in 栗原では、郡山青年会議所全てのメンバーの皆様からの全員登録いただきましたことを心より御礼申し上げます。

本年度の東北青年フォーラム in 栗原は「次代の新潮流を掴め！～共に駆け出そう！東北の資源を活かした 新たな価値の創造へ～」のスローガンのもと実に3年振りに実地開催された東北青年フォーラムでしたが、東北の資源を活かした新たな価値の創造による愛が溢れる東北の実現へ繋げることができたと思います。

私が担当させていただきましたクロージングセレモニーでは、大会を通して一番締め括りとなるファンクションであることから、東北地区協議会役員の方々や主管青年会議所である一般社団法人栗原青年会議所高橋理事長をはじめとするメンバーの皆様と協議を重ね、ともに大会を創り上げるという共通認識を持ち事業構築にあたることができました。東北青年フォーラム in 栗原の各ファンクションでそれぞれの新たな気づき・学びの機会があり、参加したメンバー一人ひとりが自らの成長を感じ、東北の資源を活かした新たな価値の創造や愛が溢れる東北の実現へ向けて意識の変革が出来たものと感じています。また東北各地から出向をしている意識の高いメンバーと一年間を共に活動したことで非常に貴重な経験をする事ができました。この出向で得た経験を、今後も青年会議所の運動・活動に活かしていくことをお約束し、出向者報告とさせていただきます。一年間、本当にありがとうございました。

## 東北グリーン社会確立会議

委員 佐藤 研一

2022年度東北地区協議会東北グリーン社会確立会議に出向させていただき誠にありがとうございました。東北グリーン社会確立会議では脱炭素社会の実現に向けての発信など様々な事業を行いました。新型コロナウイルスの影響などにより当初の事業計画通りにいかないことも多かったです。形を変えながらも目的に沿った事業を実施する事が出来ました。

主な事業としましては、カーボンニュートラルに関する動画作成と配信を年3回行い、脱炭素社会の概要や企業でできるカーボンニュートラルの取り組み、既に取り組んでいる企業に対するインタビューなどを配信しました。また、東北青年フォーラム in 栗原大会では、【カーボンニュートラルパーク】と題して、カーボンニュートラルを実際に見て、触って、感じてもらう体験事業を行いました。

TOYOTA様、NISSAN様のご協力のもと、水素を燃料として走る「MIRAI」、電気自動車「ARIYA」の展示・試乗、コミュタン福島様のご協力のもと、太陽光発電・風力発電の仕組みを学べるワークショップ、明日から出来るカーボンニュートラルの取り組み・東北企業の取り組み紹介のポスター展示を行いました。この事業が、地域企業でのカーボンニュートラルに向けて一歩踏み出すきっかけとなることを願っています。

今回の出向を通じて本当に多くの気付きや学び、そして仲間を得る事が出来ました。このような素晴らしい機会を与えていただいた久保田理事をはじめとするメンバーの皆様に改めて心より感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。

## 価値デザイン会議

委員 三瓶 卓也

はじめに、本年公益社団法人日本青年会議所東北地区協議会東北経済グループ価値デザイン会議に出向させて頂きました事に久保田理事長をはじめとするメンバーの皆様に感謝申し上げます。

感染症の影響により、運動・活動に制限が掛かった日々が続いておりましたがWEBが中心とはなりましたが、外部講師を招きウェブセミナーを2件開催いたしました。そのセミナーでは司会と言う大役を務めさせて頂きましてとても貴重な経験をさせて頂きました。また、東北青年フォーラムでは、東北六県の価値デザインに関する食品を振舞わせて頂きました。その体験から得られる大きな学びを得る事が出来ました。

今回の出向を通じて本当に多くの気付きや学びを得る事が出来ました。このような素晴らしい機会を与えていただいた久保田理事長をはじめとするメンバーの皆様に改めて心より感謝申し上げます。この学びをしっかりと自分自身に落とし込みLOMでの運動・活動に還元していく事をお約束して出向者報告とさせて頂きます。一年間ありがとうございました。

組織連携推進委員会

委員 中嶋 拓歩

本年は福島ブロック協議会 組織連携推進委員会に出向させていただき、誠にありがとうございました。

この一年の出向期間を振り返りますと、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により色々な運動・活動に制限がかかる中、出来る限りの運動・活動をした、そんな一年だったと思います。委員会等はほぼほぼ WEB 開催となり、委員会メンバーとの交流を深めるのが難しい部分もありましたが、ブロック大会で担当した「防災・減災スタンプリナー」やふくしま SDGs 博でのブース出展、そして年間を通してご依頼いただいた様々な LOM 支援事業を経て、さまざまな方と出会い、学び、経験することで自己成長できた一年になりました。またかけがえのない仲間ができた一年でもありました。今後はその学びや経験を LOM に還元できるよう邁進していく所存です。

最後になりますが、この貴重な機会を与えてくださった久保田理事長をはじめとするメンバーの皆様へ改めて心より感謝を申し上げ、私からの出向者報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。

アカデミー委員会

副委員長 坂本 皓亮

2022年度のアカデミー委員会では「未来を巻き込む即戦力となる！」のスローガンの下、バックキャストイングを用いて地域の課題解決に向けた中期ビジョンの策定を行いました。

その過程で、単純に目の前の課題解決に専念するのではなく、先にある目標を定めることで、より有効に事業展開を行うことができるように塾生が成長するように指導してまいりました。塾生が自分の地域のために何ができるのかを考えるためにも、理念の重要性や理想と現実のギャップの確認とそれを埋める方法、それらを多くの人に共感を得るためにはどうすればよいのかを学ぶ機会を提供してきました。

2月の開校式から11月の閉校式までスタッフとしましても多くの気づきと学びを得てまいりました。アカデミー委員会を通し、委員会や塾内での様々な関わり合いの中で絆が強くなり、信じあえる仲間もできました。メンバーの皆様にはご理解とご協力、様々な場面でご支援いただき、お蔭をもちまして無事に閉校式を終えることができました。久保田理事長をはじめとしますメンバーの皆様へ心より感謝申し上げます。1年間本当にありがとうございました。

アカデミー委員会  
委員 佐藤 広幸  
委員 杉島 健太

はじめに、本年度公益社団法人日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会アカデミー委員会に出向させていただきましたこと、久保田理事長をはじめとする理事の方々、送り出していただいたメンバーの皆様に、深く感謝申し上げます。

本年度は新型コロナウイルス感染症のまん延防止の観点からオリエンテーションの実地開催が中止となり、開校式もWEBで行うという例年とは異なる形でスタートいたしました。実地とWEBを併用したハイブリッドでの委員会が開催され、各塾に別れて、会津、中通り、浜通りが抱える問題点について議論を重ね、各地域特定の問題を解決するための中期ビジョンを作成していきました。ビジョン作成にあたっては福島県庁復興・総合計画課や日本青年会議所などから講師を招いていただき、実践的かつ効率的な手法を学ばせていただきました。作成した成果は、福島ブロック大会 in 二本松での成果発表会にて発表させていただき、その後、地方創生政策アイデアコンテストに応募させていただきました。他のLOMメンバーとの絆を深めるだけでなく、「Presenter」セミナーの受講により、個人のプレゼンテーションスキルを高める機会も与えていただき、多くの学びと気づきを得られた委員会となりました。

本年度アカデミー委員会には「未来を巻き込む即戦力となる！」というテーマがございました。他を巻き込むことで生まれる創造性の高さや団結力の大きさを、委員会を通して体感したことにより、JC活動に対する取り組み姿勢と、周囲に働きかける意識が向上したと感じております。今後はLOMを支えるメンバーになっていくことが、恩をお返しできる一番の方法だと思いますので、委員会で学んだことを活かし、これからも邁進していきたいと思っております。

最後になりますが、一年間このような素晴らしい機会を与えていただいたことに、改めて感謝申し上げます。報告とさせていただきます。ありがとうございました。

監事 大槻 俊介

監事 金山 慶一

久保田雄大理事長をはじめとする公益社団法人郡山青年会議所会員の皆様、2022年度のJC運動、活動大変お疲れ様でした。

本年度は「Just keep going!～前進あるのみ!～自ら行動しよう、愛と笑顔が溢れる郡山の未来のために」のスローガンのもと、我々が愛するまち郡山のために久保田理事長を中心にLOMメンバーが一丸となり数多くの事業をおこなって参りました。

本年度は一昨年より猛威を振るっている新型コロナウイルスの影響により、事業の開催やLOMの運営に多少の影響はありましたが、過去二年間での経験を活かし事業の構築や会議の開催方法を協議し、より効果的な運動や活動に邁進した一年でした。

そのような中でも、ここ数年力を入れている青少年を対象とした防災事業や郡山の魅力を対内外へ発信したまちづくり事業を主力事業として、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施したうえで、の収容人員の緩和により多くの市民の皆様にご参加いただいたことで、コロナ禍では少なかった対面での意見交換の場となり、今後の事業への参考となりました。

例会や総会におきましては、一部開催方法の変更をおこないましたが、単独例会として開催できたことは、新型コロナウイルスの感染拡大防止に最大限に注力し、設営にあたった総務委員会の皆様のおかげです。やはり現役会員間の情報の共有やコミュニケーションの場としても最も重要な機会だと再認識した一年となりました。

遠征におきましても本年度は実地及びWEBのハイブリット開催が多く、2020年度入会以降のメンバーが経験できなかった実地参加が叶い、遠征先の地域の魅力を体感することでより多くの学びと気づきを得ることができました。

出向につきましては、日本青年会議所、東北地区協議会、福島ブロック協議会に延べ14名の出向者を輩出しまして、皆様それぞれの立場で多くの事業や各種大会にてご自身の担いを全うし、活躍されました。出向先での貴重な経験を次年度以降もLOMに還元し、新たに出向していくメンバーに対して様々なアドバイスをさせていただきたく、よろしくお願いたします。一年間本当にお疲れ様でした。

次年度以降もLOMメンバーの一人ひとりが当事者意識をもち、本年度の様々な経験を糧として主体的に活躍していくことが重要です。そして次世代に夢と希望を与えるような、ひとづくり、まちづくり運動を推進し、明るい豊かな社会を実現していただきたいと思います。新しい時代に挑戦し、私たちが夢描く最高の未来を目指し、郡山青年会議所運動、活動を展開していただくことを心からご祈念申し上げ、私ども二名の監事報告とさせていただきます。

公益社団法人郡山青年会議所 2022年度 各委員会月別報告書 No.1

	総務委員会	会員開発委員会
1月	05日 第1回総務委員会開催 14日 文書発送並びに第2回総務委員会開催 17日 新年会開催 26日 1月例会・定時総会開催	05日 第1回会員開発委員会の開催 19日 第2回会員開発委員会の開催
2月	02日 第3回会員開発委員会開催 16日 文書発送並びに第4回総務委員会開催 21日 2月例会開催	02日 第3回会員開発委員会の開催 17日 第4回会員開発委員会の開催
3月	03日 第5回総務委員会開催 17日 文書発送 18日 第6回総務委員会開催 28日 3月例会開催	03日 第5回会員開発委員会の開催 12日 2022年度 新入会員オリエンテーション並びに 現役会員向け会員開発セミナー開催（室合同） 22日 第6回会員開発委員会の開催
4月	06日 第7回総務委員会開催 15日 4月例会並びにチェリーパーティー開催 19日 文書発送並びに第8回総務委員会開催	04日 第7回会員開発委員会の開催 15日 4月例会並びにチェリーパーティー の開催 19日 第8回会員開発委員会の開催
5月	06日 第9回総務委員会開催 16日 文書発送並びに第10回総務委員会開催 22日 5月例会並びに5月例会並びにSDGs×郡山 青年会議所×こおりやま謎解きウォークラリー	06日 第9回会員開発委員会の開催 17日 第10回会員開発委員会の開催
6月	02日 第11回総務委員会開催 15日 文書発送並びに第12回総務委員会開催 23日 6月例会開催	06日 第11回会員開発委員会の開催 17日 第12回会員開発委員会の開催
7月	02～03日 福島ブロック大会 in 二本松参加引率 05日 第13回総務委員会開催 15日 文書発送 20日 第14回総務委員会 21日 7月例会開催	04日 第1回会員拡大会議 05日 第13回会員開発委員会の開催 19日 第14回会員開発委員会の開催
8月	02日 第15回総務委員会開催 06日 奈良JCとの交流会及びうねめまつり踊り流し参加 16日 文書発送並びに第16回総務委員会開催 22日 8月例会開催	03日 第15回会員開発委員会の開催 18日 第16回会員開発委員会の開催
9月	06日 第17回総務委員会開催 15日 文書発送並びに第18回総務委員会開催 21日 9月例会・定時総会開催	05日 第17回会員開発委員会の開催 02日 第21回会員開発委員会の開催 16日 第18回会員開発委員会の開催
10月	04日 第19回総務委員会 17日 文書発送並びに第20回総務委員会開催 24日 10月例会開催	05日 第19回会員開発委員会の開催 07～08日 第71回全国大会 おおいた大会参加引率 12日 新入会員候補者面接 18日 第20回会員開発委員会の開催 26日 OB元気の開催
11月	04日 第21回総務委員会開催 15日 文書発送並びに第22回総務委員会開催 23日 11月例会開催	02日 第21回会員開発委員会の開催 08日 郡山青年会議所×Ussiy ～見せ方一つで地域が変わる～開催 10日 新入会員候補者面接 17日 第22回会員開発委員会の開催
12月	03日 第23回総務委員会開催 10日 12月臨時総会並びに卒業式開催 15日 12月例会開催 26日 文書発送並びに第24回総務委員会	05日 第23回会員開発委員会の開催 09日 新入会員面接 12日 新入会員面接 19日 第24回会員開発委員会の開催 24日 新入会員面接

公益社団法人郡山青年会議所 2022年度 各委員会月別報告書 No.2

	広報委員会	まちづくり委員会
1月	05日 第1回広報委員会の開催 14日 広報誌発刊 24日 第2回広報委員会の開催 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの管理 ◎地域アンケート～こおりやまの声ポケット～の実施	05日 第1回まちづくり委員会の開催 18日 第2回まちづくり委員会の開催
2月	04日 第3回広報委員会の開催 18日 第4回広報委員会の開催 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの管理 ◎地域アンケート～こおりやまの声ポケット～の実施	04日 第3回まちづくり委員会の開催 16日 第4回まちづくり委員会の開催
3月	02日 第5回広報委員会の開催 12日 2022年度 新入会員オリエンテーション並びに 現役会員向け会員開発セミナー開催（室合同） 17日 第6回広報委員会の開催 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの管理	04日 第5回まちづくり委員会の開催 22日 第6回まちづくり委員会の開催
4月	04日 第7回広報委員会の開催 13日 第61回「久米賞・百合子賞」第1回実行委員会の開催 18日 第8回広報委員会の開催 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの管理	05日 第7回まちづくり委員会の開催 18日 第8回まちづくり委員会の開催
5月	02日 第9回広報委員会の開催 16日 広報誌発刊 17日 第10回広報委員会の開催 18日 第61回「久米賞・百合子賞」審査員顔合わせ会の開催 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの管理	02日 第9回まちづくり委員会の開催 18日 第10回まちづくり委員会の開催
6月	03日 第11回広報委員会の開催 16日 第12回広報委員会の開催 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの管理 ◎地域アンケート～こおりやまの声ポケット～の実施	03日 第11回まちづくり委員会の開催 17日 第12回まちづくり委員会の開催 19日 郡山魅力サミット ～あなたがいるから、できること～開催
7月	06日 第13回広報委員会の開催 16～17日 サマーコンファレンス参加引率 19日 第14回広報委員会の開催 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの管理	06日 第13回まちづくり委員会の開催 19日 第14回まちづくり委員会の開催
8月	03日 第15回広報委員会の開催 16日 広報誌発刊 18日 第16回広報委員会の開催 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの管理	02日 第15回まちづくり委員会の開催 17日 第16回まちづくり委員会の開催
9月	05日 第17回広報委員会の開催 16日 第18回広報委員会の開催 29日 第61回「久米賞・百合子賞」第2回実行委員会の開催 ◎第61回「久米賞・百合子賞」応募締め切り、一次審査 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの管理	02～04日 東北青年フォーラム in 栗原参加引率 07日 第17回まちづくり委員会の開催 16日 第18回まちづくり委員会の開催
10月	05日 第19回広報委員会の開催 18日 第20回広報委員会の開催 19日 第61回「久米賞・百合子賞」最終審査会の開催 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの管理	05日 第19回まちづくり委員会の開催 16日 魅力発見！こおりやま開催 18日 第20回まちづくり委員会の開催
11月	2日 第21回広報委員会の開催 17日 第22回広報委員会の開催 23日 11月例会の運営・第61回「久米賞・百合子賞」授賞式 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの管理	02日 第21回まちづくり委員会の開催 17日 第22回まちづくり委員会の開催
12月	05日 第23回広報委員会の開催 16日 第24回広報委員会の開催 26日 広報誌発刊 27日 第61回「久米賞・百合子賞」第3回実行委員会の開催 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの管理	05日 第23回まちづくり委員会の開催 16日 第24回まちづくり委員会の開催

青少年育成委員会	
1月	05日 第1回青少年育成委員会の開催 18日 第2回青少年育成委員会の開催 22～23日 京都会議参加引率
2月	04日 第3回青少年育成委員会の開催 17日 第4回青少年育成委員会の開催
3月	04日 第5回青少年育成委員会の開催 16日 第6回青少年育成委員会の開催
4月	05日 第7回青少年育成委員会の開催 18日 第8回青少年育成委員会の開催
5月	02日 第9回青少年育成委員会の開催 15日 第25回わんぱく相撲こおりやま場所の開催 17日 第10回青少年育成委員会の開催
6月	03日 第11回青少年育成委員会の開催 17日 第12回青少年育成委員会の開催 19日 第25回わんぱく相撲福島ブロック大会引率
7月	05日 第13回青少年育成委員会の開催 19日 第14回青少年育成委員会の開催
8月	02日 第15回青少年育成委員会の開催 17日 第16回青少年育成委員会の開催 20日 防災体験キッズワークショップ～体感型防災アトラクション～開催
9月	05日 第17回青少年育成委員会の開催 15日 災害時等における協力体制に関する協定書締結式開催 16日 第18回青少年育成委員会の開催
10月	05日 第19回青少年育成委員会の開催 18日 第20回青少年育成委員会の開催 29～30日 第37回わんぱく相撲全国大会引率
11月	04日 第21回青少年育成委員会の開催 15日 第22回青少年育成委員会の開催
12月	05日 第23回青少年育成委員会の開催 16日 第24回青少年育成委員会の開催